

2021年7月19日 テーマ No.18 会合議事録

日時：2021年7月19日 15:30～17:00

参加者：三浦、石崎、水口、陰山、長谷川、相良、吉田、菊池

最初に提案者（三浦）が No.18 提案内容の説明を行った。

以下、議事（発言）要旨：

- これまでのシミュレーションで、自由度が高い筈なのに、実験などは案外少ない変数で状態が記述できるという事実を踏まえると、自由度逓減を提言していく方向は役に立つのではないかと思っている。
- 「自由度逓減」の「逓減」は「低減」と違うのか、分野外の人にもわかる書き方が必要。
- ユニットとして提案していくには、ほかの分野から見て響くものが必要である。この研究の看板がわかりにくい、タイトルを見て何をするのかわかりにくい。これまで我々が育ててきた流体・MHD シミュレーションの方法論を、他分野にも広げてゆくといった新しい方向性を端的に示すタイトルが良いのでは。
- 自由度逓減は機械学習がやっていることで、機械学習から成功例はいくらでも見つかるし、印象的な自由度逓減の例になるが、「ならば、新しさはどこにあるのか」ということになる。
- タイトルに「自由度逓減」を入れると AI, DL の方が反応してしまうけれど、それはこのテーマの主旨ではないがどうしたらよいか。
- AI, DL は自由度逓減の先行分野ではあるし、今後共同研究を展開してゆくメリットは双方にとって大きいだろうから、本ユニット提案のキーワードに自由度逓減をもってくるのは間違いではないと思う。